

3月5日(金曜日)

ドル/円

米雇用統計に注目あつまる

4日(木)の主な推移

ダウ平均株価

10444.14ドル
(+47.38ドル)

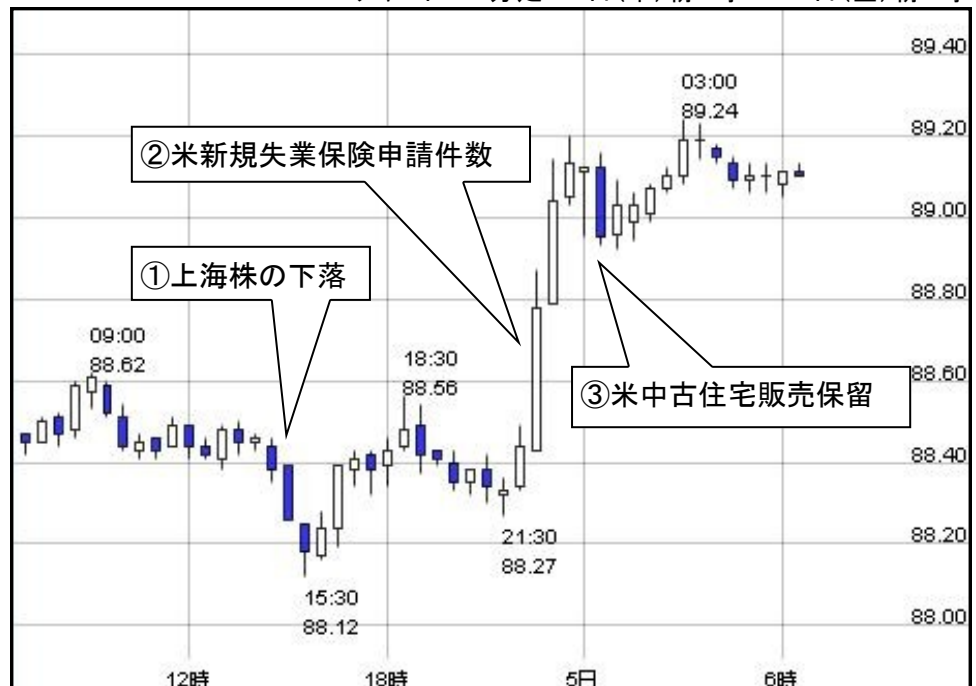
米長期金利
(10年債利回り)

3.6060%
(-0.0132%)

NY原油先物

80.21ドル
(-0.66ドル)

チャート: 30分足 4日(木)朝7時 ~ 5日(金)朝7時



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、()は前日比
出所:外為どっとコム

- ① 上海総合株価指数が大幅に下落したことで、クロス円(ユーロ/円、豪ドル/円など)を中心にリスクを回避する姿勢が高まり、円高が進行。これに連れる形でドル/円でも円高・ドル安が進み、88.12円の安値をつけた。
- ② 22時30分に発表された米新規失業保険申請件数は46万9000件と市場予想(47万件)よりもやや強い、という程度の結果だったが、同時に発表された失業保険継続受給者数が450万人と、市場予想(460万人)よりも大幅に強い結果となった。これを受けてドルは全面高となり、ドル/円相場でもドル高・円安が進行した。
- ③ 日本時間5日0時に発表された米中古住宅販売保留が前月比-7.6%と、市場予想(+1.0%)に反して大幅に減少したことで一旦ドル売りで反応したが、大雪の影響という一時的な要因によるものと判断され、次第にドル買い優勢の展開となった。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

上昇要因(ドル高・円安)

- ・米経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加資金供給
- ・日本の財政赤字への懸念

下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米経済の回復の鈍化
- ・外貨準備通貨としてのドル需要の減退
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり
- ・金融市場全体のドル売りムードの高まり

本日の見通し

本日の予想レンジ: 87.30-90.30円

本日は22時30分に発表される米2月雇用統計が最大の焦点となる。従って、その発表以前の動きはポジション調整の域に留まる見通しだ。

今回の雇用統計のうち、非農業部門雇用者数の市場予想は2月後半以降に徐々に下方修正されている。市場はかなりネガティブな結果を織り込みつつあるようだ。ドル/円の場合、市場予想よりも強い結果になれば、米長期金利が上昇し、ドル高・円安が進むとみる。上値目標は2月24～25日の高値水準である90.30円近辺か。逆に、予想以上に弱い結果となれば、ドル安・円高が急激に進み、昨日安値の88.12円を割り込むことも考えられる。88.00円の節目をも下回るようならば、2009年12月9日につけた安値87.34円をターゲットに急落することもあり得る。雇用統計は1カ月の中で最も注目されるイベントだけに、値幅は大きめに想定しておきたい。

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
3/5(金)	22:30	◎	(米) 2月非農業部門雇用者数	-2.0万人	-6.8万人
	22:30	◎	(米) 2月失業率	9.7%	9.8%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com